

1 大屋富ミニ八十八カ所

所在地：大屋富町 松ヶ浦池周辺

大正後期、行き倒れた身元のわからない巡礼者を不憫に思った地元の有志が、岡崎家所有の土地（現・国民休暇村辺り）に、大師堂を造り、背負っていた仏像を奉って88体の石仏を置きました。昭和40年代に国が休暇村を造るため、土地を国へ売却する際、今の大屋富町奥池の周りに石仏と大師堂を山から下ろしました。全周約1.5km。



2 鳥洲神社（潮止神社）ご神木

所在地：久米町一丁目2

この宮は、元禄の頃岡浜築造にあたって、その堤防となった寄洲（鳥洲）に潮止社が祀（まつ）られたにはじまり、文政年間、この北方に久米通賢翁による坂出墾田中新開が完成するに当って、高松藩主九代松平頼恕（よりひろ）公が翁に命じて新たに社殿を建立し、文政十二年（1829年）二月三十日自ら施主となって、この地の守護神、埴夜須姫命（はにやすひめのみこと）を祀（まつ）った宮である。以後、この地の繁栄と共に潮止神社また、鳥洲神社とよばれて社運隆々、今に中新開の守護神として厚く尊崇されている宮である。（鳥洲神社内石碑より）

この神社にあるこの大クスノキは、坂出市緑化条例にもとづき保存樹木として、昭和62年3月26日に指定されています。



3 水準点

所在地：入船町、江尻町、西庄町

街を歩いていると石や金属に印や文字が刻まれたものを見かけます。これらの中には私たちの財産を守るのに大切なものが多くあり、傷つけずに後世まで守っていきたいということで、市内の水準点をいくつか紹介したいと思います。

全国に地図の作成や各種測量調査の時に基準となる電子基準点や三角点、水準点が設けられています。これらの多くは明治から大正時代にかけて設置されたものが多く、地図の作成や開発において大きく貢献してきた文化遺産ともいえる貴重なものです。その中で一等水準点は、全国の主な国道や主要地方道に約2kmごとに設置され、坂出には10か所あります。土地の高さを精密（mm単位）に求めることができ、地殻変動・地盤沈下等の土地の上下変動は、この水準点を測ることで求められます。



※引用：国土地理院ホームページ 中部地方測量部 (<https://www.gsi.go.jp/chubu/profile-kijunten-kijunten.html>)

編集後記

賛否両論の中開催された東京2020オリンピック・パラリンピックも終わりました。前代未聞のコロナ禍で行われたオリンピックとして、是か非かは別として、我々の記憶に深く刻まれた大会であったと思います。このことが社会に与えた影響を分析・検証していき、今後起こり得るかもしれない新たな感染症に対応できるようにしていく必要もあるかと思えます。

今回の大会では、若い選手の活躍が目立ったように思うのは私だけではないでしょう。躍動する若いエネルギーに感動し、ともすれば妬みずら感じてしまうスピード感には圧倒されました。あの場所に立つには、我々の想像を絶するような努力をしたのでしょう。困難に打ち勝ち、たとえ負けても前を向き努力し続ける姿は、今の日本にこそふさわしいと感じます。まだまだ困難は続きそうですが、今できる努力をし続け、明るい未来に向けて歩み続けましょう。（丸岡）

広報広聴委員会 委員長……植原 泰 副委員長……丸岡豊和
委員……山本真嗣 脇 芳美 東原 章
鳥飼年幸 若谷修治 若杉輝久

次回開催は…
12月定例会を12月上旬
に、開催予定です。

